令和6(2024)年度 多文化共生基礎調査

概要版

調杳概要 県内に居住する16歳以上の日本人及び外国人 対象者 対象市 静岡市、浜松市、富士市、磐田市、焼津市 計5市 2023年(令和5年)6月末現在の県内の上位8か国 外国人の国 (ブラジル、フィリピン、ベトナム、中国、インドネシア、 籍 ペルー、韓国、ネパール) 日本人1,000人 外国人4,000人 抽出数 (住民基本台帳から無作為抽出) 調查方法 郵送配布・郵送回収(オンラインによる回収併用) 調査票の種 日本人:通常の日本語版を送付 類 外国人:各国の母国語版とやさしい日本語版の2部送付 調査時期 2024年(令和6年)7月~8月 有効回収 日本人:528件(52.8%) 外国人1,467件(36.7%) うち27.6%が 日本人調査と外国人調査の比較 やさしい日本語で回答 P102 地域で暮らす外国人/日本人に親しみを感じるか 20% 感じる 45.7 日本人 (n=528) 28.5 //, 1.4 外国人 (n=1.467) 70.1 【日本人】外国人に親しみを感じる割合 45.7% し 24.4ポイントの差 【外国人】日本人に P10 やさしい日本語の認知度(日本人)/P37 やさしい日本語がわかる外国人 14.6% 55.3% 43.4% やさしい日本語を 16-29歳:65.2% やさしい日本語なら

30-59歳:57.3% 60歳以上:52.1%

・2020調査から「知っている」は+3.3pt、若者の認知度が高い

わかる(聞く)

わかるわからない無回答

85.2%

知っているか

知っている知らない無回答

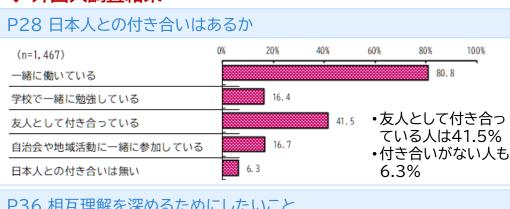
◆ 日本人調査結果 ※設問の「PO」は報告書ページ数 P12 多文化共生に関する意見 0% 20% 60% A:日本人は、外国語・やさしい日本語・外国文化 17.7 5.9 76.4 を学ぶべき (n=528) B:日本人は、外国人が日本の言語や文化、ルール 82.0 12.6 5.4 を学ぶよう支援すべき (n=528) C:日本人は、外国人が地域活動に参加するよう支 15.4 7.3 77.3 援すべき (n=528) 【2020調査との「思う」の差】A: ▲5.3pt B: ▲4.5pt C: ▲5.3pt P13 まわりで外国人に対する差別があると感じるか 100% 差別があると感じるか (n=528) 26.9 わからない 感じない P16 外国人住民が増加することによる影響 18.6 7.3 A:社会に多様性が生まれる (n=528) 74.1 B: 地域経済の活性化に貢献する (n=528) C:地域や自治体活動の活性化に貢献する 46.2 (n=528)D:外国の文化や習慣をする機会が増える (n=528)E:人口減少・労働力不足の解消につながる 76.0 (n=528)

【2020調査との「思う」の差】A:▲1.3pt B:▲1.1pt C:▲4.7pt

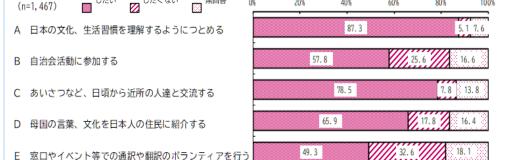
D:▲3.2pt (Eは新規項目)

令和6(2024)年度 多文化共生基礎調査

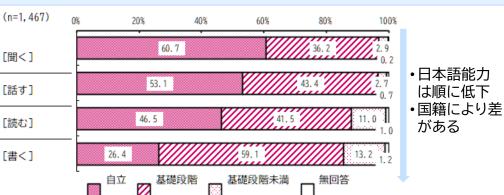
▶ 外国人調査結果



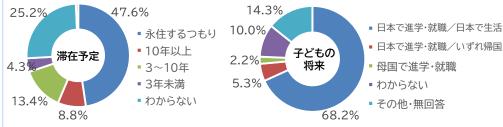




P47 日本語がどのくらいできるか

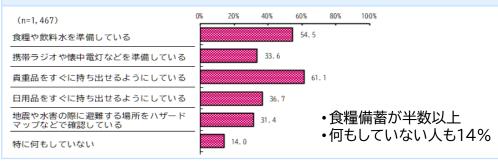


P24 日本への滞在予定年数/P82 子どもの将来をどう考えているか

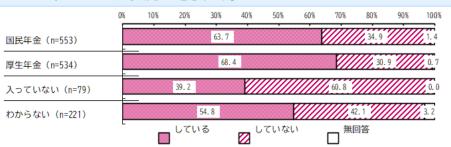


10年~永住するつもりが56.4%日本で進学就職・生活希望が68.2%

P63 災害への備え



P71 年金の加入状況と老後の貯金をしているか



P97 外国人が静岡県で就職・就労するときの課題

	調査数(人)		国などより	かせる仕事	求められる 日本語能力 が高い	日本語で仕 事をするこ とへの不安	することへ	環境への不	母国の家族 の理解が得 られない	ビザの取得 が困難	その他
技術	42	31.0	23.8	11.9	26. 2	33.3	9.5	11.9	2. 4	21.4	23.8
人文知識・国際業務	47	25.5	31.9	4.3	14.9	8.5	6.4	10.6	-	17.0	19.1
技能	73	43.8	30.1	6.8	19.2	31.5	15.1	4.1	5. 5	12.3	23. 3
留学	30	46.7	13.3	6. 7	26. 7	33.3	16. 7	3. 3	3. 3	13.3	13. 3